

県南農林だより

No.38
令和2年12月発行

～ふくしまから はじめよう 「食」と「ふるさと」新生運動ニュース～

農林業関係の動き

- ☞ 福島県GAP(FGAP)交付式を行いました！
- ☞ 福島県多面的機能支払事業優良活動組織表彰で管内2組織が受賞！
- ☞ 土壌肥料のスペシャリストが教える土づくりセミナーを開催しました！
- ☞ 高校生の林業現場見学会を開催！！
- ☞ 高校生に農業の魅力を伝える、フレッシュ農業講座を開催！！
- ☞ 6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア」を開催しました
- ☞ 特定家畜伝染病の発生予防およびまん延防止措置について
- ☞ 松くい虫防除事業等研修会を開催しました
- ☞ 新しい福島県農林水産業振興計画策定に係る地方意見交換会を開催しました
- ☞ 藤田建設工業(株)が「令和の森」植樹祭を開催しました

コラム

- ☞ 県南地方の農産物直売所～はにわの里～

お知らせ

- ☞ プレミアムな水稲新品種「福、笑い」の販売が始まりました！
- ☞ 防災重点農業用ため池に係る防災工事を推進します
- ☞ 新型コロナウイルス感染症の支援などに関する情報



山本不動尊(棚倉町)



今月も合同庁舎にアレンジメントを飾りました



◆ふくしま県GAP (FGAP) 交付式を行いました！

11月17日(火)に、県南農林事務所内において、(株)吉野家ファーム福島(白河市)へ、FGAP の認証書を交付しました。

(株)吉野家ファーム福島は H30年から JGAP の取得・継続に取り組んでおり、今年度は福島県農産物を積極的に売り込む手段の一環として、消費者へ作物の放射能検査での安全性を伝えられる FGAP も取得されました。

交付を受けた滝田専務取締役は、「GAP に取り組むことで、社員教育や農薬をはじめとする在庫管理や整理整頓の面でメリットを感じており、今後も継続していきたい。」と述べていました。

県では、食の安全性の確保等を図る管理手法と、風評払拭を目的とした FGAP の取得を推進しており、(株)吉野家ファーム福島の2件(野菜・米)が認証となったため、県内での取得件数は合計87件(うち県南管内9件)となっています。



↑左:(株)吉野家ファーム福島 滝田専務取締役
右:県南農林事務所 近藤所長

農林業関係の動き

祝 福島県多面的機能支払事業優良活動組織表彰で管内2組織が受賞! **祝**

10月30日(金)に、福島県多面的機能支払事業推進協議会主催による「令和2年度多面的機能支払交付金優良活動表彰」の選考結果が発表されました。

県南地方からは「伊香清流の郷(埴町)」が優秀賞にあたる福島民報社賞、「南湖環境守る会(白河市)」が特別賞を受賞しました。

本表彰は、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のために行われている地域の優良な取組を広く PR し、県内全体の地域活動の活性化、地域コミュニティ機能の強化などに繋げていくことを目的として、毎年行われています。

Point!

今年度の表彰において、受賞した県内6組織のうち、県南地方からは2組織が受賞となりました。

これは、組織の皆様が農業・農村を次世代に引き継ぐため、多面的機能支払交付金を活用して、地域の実情に応じ様々な創意工夫をこらしながら活動を実践されているからです。

また、昨年度は台風19号によって、受賞した2組織の農地や施設なども他地域と同様に被害を受けましたが、組織の方々の直営施工により復旧し、例年通りの作付けを行うことができました。

今後も県南地方の農業・農村の多面的機能の維持・発揮に向け、関係団体と連携しながら、組織の保全活動を支援してまいります。

福島民報社賞 (優秀賞)

市町村	埴町
活動組織名	伊香清流の郷
組織概要	①所在地 埴町大字伊香 ②対象面積 63.72ha(田 61.32ha 畑 2.4ha) ③構成員 農業者 110 名、非農業者 50 名、参加団体 4 団体
活動概要	①花いっぱい・笑顔いっぱいの地域づくり ②町の花・ダリアの植栽活動を通した、高齢者と地域の子もたちとの世代間交流による地域内の連携強化 ③直営施工による鳥獣害対策や災害復旧、農道舗装、用水路の更新

特別賞

市町村	白河市
活動組織名	南湖環境守る会
組織概要	①所在地 白河市影鬼越 ②対象面積 31.3ha (田 31.3ha) ③構成員 農業者 20 名、非農業者 6 名、参加団体 1 団体
活動概要	①鳥獣害対策や水路工事、災害復旧を直営施工で実施 ②定期的な役員交代による、地域農業生産活動を支える体制の継続を図る

【農村整備部】

◆ 土壌肥料のスペシャリストが教える土づくりセミナーを開催しました! ◆

11月17日(火)に、白河市表郷公民館において、土づくりに関する知識習得による資質向上を目的に、土づくりセミナーを開催しました。セミナーには生産者や JA 職員など46名が参加し、講師には福島大学食農学類 准教授の二瓶直登先生をお迎えし、施肥の基礎や作物の養分吸収、植物体内の養分の移動についてわかりやすくご講演いただきました。また、農業総合センターの中山主任研究員から、土壌診断の見方と施肥設計について情報提供がありました。

根の肥料の利用効率や根の養分吸収の部位等について、質疑応答が活発に行われ、出席者は土づくりに関する理解を深めた様子でした。



↑セミナーの様子

【農業振興普及部】

◆ 高校生の林業現場見学会を開催！！

11月11日(水)に、林業分野への新規就業者の確保に向け、高校生を対象とした林業現場見学会を開催しました。当日は、県立修明高等学校鮫川校2・3年生15名が参加し、埴町での高性能林業機械による立木伐採現場と埴町の製材工場及びチップ工場を見学しました。

伐採現場では、高性能林業機械(ハーベスタ・フェラバンチャザウルスロボ)による伐倒作業の見学を行った後、チェーンソー・刈払機・高性能林業機械の操作体験を行い、林業の現場作業を体感してもらいました。

また、伐採された立木が運ばれる製材工場では、選木～加工～乾燥～仕上げを行い建築部材等に至る加工工程の説明を受け、最後に今年度より就業している前年度卒業生へ製材工場での仕事についての質問を行い、先輩からは今後の進路に向けたアドバイスを受けました。



← 林業機械操作体験の様子



↑ 製材工場見学の様子



↑ 林業現場見学会

参加した高校生からは、「実際に機械に触れることができ貴重な体験となった。」「現場では機械による作業が多く、林業のイメージが変わった。」「今後の就業についての参考となった。」などの感想が聞かれました。

県ではこれからも、林業への就職に関心を持っていただけるよう林業現場見学会などの取組を継続してまいります。

【森林林業部】

◆ 高校生に農業の魅力伝える、フレッシュ農業講座を開催！！

10月12日(木)に、修明高校1年生30名を対象としてフレッシュ農業講座を開催し、矢祭町の株式会社「辰巳屋」と農業生産法人有限会社「甚右衛門」を視察しました。

「辰巳屋」は食品残渣ごんさつを利用したバーク堆肥を製造しており、「甚右衛門」はその堆肥を使って業務用の多品目野菜を主に栽培し、環境に配慮した農業経営を行っています。

学生は、それぞれの会社の担当者から説明を聞き、地域循環型農業などの取組について積極的に質問をするなど農業への関心を高めていました。

視察研修後のアンケートでは、「家畜糞尿を使わない堆肥づくりに関心を持った。」「職業として農業の存在を知った。」という意見があり、今後の進路選択に役立つ研修になったようです。

Point!

バーク堆肥とは？

樹皮を発酵させて作った有機質肥料のことで、水はけを良くし、土をふわふわにするなどし、土壌改良効果があります。



↑ バーク堆肥製造施設見学の様子

【農業振興普及部】

◆6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア」を開催しました

10月23日(金)から27日(火)まで、イオン白河西郷店において、しらかわ・地域産業6次化推進協議会(事務局:県南農林事務所企画部)と県南販路拡大促進協議会との共催により、6次化商品販売会「しらかわ食・人フェア」を開催しました。



↑販売会の様子

6次化とは？

6次化とは、1次・2次・3次の事業者が他産業と相互に連携・融合しながら、農林水産物や商品・加工品の付加価値を向上・創造する取組です。



→販売会の様子

県南地方を中心とした16団体がアップルパイ・プリン・クッキーから漬物・辛子味噌といったごはんのおとも、クラフトビール・果実酒まで、地元農林水産物を材料とした多様な93商品の6次化商品を店頭で消費者にPR・販売することにより、6次化に取り組む団体や個人の技術・商品力の向上に寄与し、県南地方の魅力を多くの来店者にPRすることができました。

この販売会はイオンの周年祭に合わせて毎年10月下旬に開催していますので、来年の開催時には未来のヒット商品をお取りしにお越しください。

👉 出店者や商品など詳しくは下記のリンクから！！

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/kikaku-6ne01r02.html>

【企画部】

◆特定家畜伝染病の発生予防およびまん延防止措置について

9月14日(月)から10月23日(金)にかけて、豚熱発生防止のため県内で飼養されている全ての豚、115,085頭(78農場)の豚熱ワクチン接種が行われました。

平成30年9月に国内では26年ぶりとなる豚熱の発生が岐阜県で確認され、福島県でも今年9月に会津若松市で野生イノシシにおける豚熱感染が確認されました。



↑豚熱ワクチン接種作業の様子

Point!

特定家畜伝染病とは？

鳥インフルエンザ、口蹄疫、豚熱(豚コレラ)等、家畜、家禽^{かきん}の伝染病のうち、特に総合的に発生の予防及びまん延防止の措置を講ずる必要がある病気です。

県南管内は、県内の約40%にあたる豚が飼育されており、中央家畜保健衛生所の獣医技師と当農林事務所職員により20農場の飼養豚についてワクチン接種を行いました。

また、鳥インフルエンザも、香川県内の家禽^{かきん}において8例目(11月21日現在)の発生が確認され、現在も終息に至っていない状況のため、今後とも市町村と連携を図りながら発生予防とまん延防止に努めてまいります。

【農業振興普及部】

◆松くい虫防除事業等研修会を開催しました

11月5日(木)に、棚倉合同庁舎及び白河市東風の台運動公園周辺において、市町村や森林組合の担当者を対象に松くい虫防除事業等研修会を開催しました。

管内での被害が継続している松くい虫と、今後被害発生の恐れが高いカシノナガキクイムシの生態や被害発生メカニズム、防除方法、実際の被害木の判読方法などの説明を行いました。



↑現地研修の様子



↑マツノマダラカミキリ(松くい虫)標本

森林病害虫の生態など被害発生に関する基本的な知識は、被害の正確な把握と適切な防除計画作成のために必要なものとなります。参加者からは、「講義を受けて被害発生メカニズムに対応した事業であることがよく分かった。」「虫の標本など見る機会が少ない資料が見られて良かった。」などの意見が寄せられ、防除事業の基本や意義を再確認していただきました。

【森林林業部】

◆新しい福島県農林水産業振興計画策定に係る地方意見交換会を開催しました

11月13日(金)に、白河市の県白河合同庁舎において、管内6名の農林業者の皆さんと福島県森林審議会の荒川敦郎委員にご出席いただき意見交換会を開催しました。

今後10年間を見据えて福島県が策定を進めている新しい福島県農林水産業振興計画(案)の概要について県庁農林企画課及び県南農林事務所から説明した後、様々な立場の農林業者の皆様からご意見をお聞きました。

意見交換者の皆様からは、「福島県の特徴を活かした計画にして欲しい。」「地域の中で後継者を育成していく必要がある。」「農地を集約して法人が大規模経営を行えるようにする必要がある。」「ほ場整備により大区画化を進める必要がある。」「働いて楽しく、もうかる農業をやりたい。」「6次化推進のためマッチングの機会を創出して欲しい。」など計画を策定していく上で貴重なご意見をいただきました。

今後も現場の声をお聞きしながら、より良い計画となるように取り組んでまいります。

【企画部】



←意見交換会の様子

◆藤田建設工業(株)が「令和の森」植樹祭を開催しました

9月18日(金)に、白河市関辺大北向において、藤田建設工業(株)等による「令和の森」植樹祭が開催されました。この植樹祭は森林資源を活かした循環型社会の構築に貢献するために開催されたものです。

→参加者の皆さん



当日は同社をはじめ、グループ企業の(株)シーズ、(株)藤建技術設計センター、農事組合法人ひかり等から総勢約210人が参加し、1000本のコウヨウザン等を植樹しました。



↑コウヨウザンの苗木

コウヨウザンは、スギと比べて成長が2倍ぐらい早く、県内において、これだけ大規模な植栽の例は見られないことから、県でも今後の成育の状況や、森林づくりの取組の展開に注目していきます。



↑記念碑設置の様子

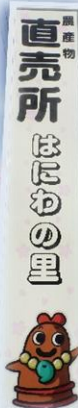
【森林林業部】

県南地方の農産物直売所

～「はにわの里」～

前号より始まった連載企画、「県南地方の農産物直売所」！！第2弾は2018年にオープンした泉崎村の直売所「はにわの里」を紹介！！

泉崎村のイメージキャラクターである「いずみちゃん」が迎えるお店は、過去に村内で多数の「はにわ」が出土し注目を集めたことから、公募により「はにわの里」と名付けられました！



「はにわの里」は、泉崎村産を中心とした農産物のほか、6次化商品の取扱が豊富で、泉崎村の商品はもちろん、玉川村特産の「さるなし」を使った加工品コーナー等があり、泉崎村で県内外の味を楽しむことができます。



オススメ！

店内にはそば打ちコーナーがあり、職人が実際にそばを打っている様子を見ることができます。併設する飲食スペースでそばを食べることができるので、お越しの際はぜひ！



スタッフおすすめの手作りアップルパイ！
税込み400円です！サクサクです！



はにわの里

- ・所在地
泉崎村泉崎字山崎 30-22
- ・営業時間
9:00～18:00
- ・定休日
正月三が日

お知らせ

◆プレミアムな水稲新品種「福、笑い」の販売が始まりました！

9月27日及び10月6日に、福島県が14年の年月をかけて育成したプレミアムな良食味米「福、笑い」の収穫が白河市で行われました。

👉「福、笑い」は「香りが立ち、強い甘みを持ちながら、ふんわり柔らかく炊き上がる」のが特徴です。👉

令和3年度からは、「福、笑い」の一般栽培が始まりますが、GAP認証取得が栽培の条件となります。また、厳しい食味品質基準を満たしたもののみが「福、笑い」と名乗ることができます。選ばれた生産者によるこだわり抜いた栽培、これこそが「福、笑い」の美味しさの理由です。是非、プレミアムな美味しさを味わってみてください。



「福、笑い」は、県内では福島市の「コラッセふくしま」と郡山市の「うすい百貨店」で1月11日まで販売されています！！

「福、笑い」の栽培に興味のある方は、農業振興普及部(0248-23-1562)までご連絡ください。



【農業振興普及部】

◆防災重点農業用ため池に係る防災工事を推進します

平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風など、近年、豪雨等により多くの農業用ため池が被災し、甚大な被害が発生しています。地域の安全上、重要なため池である防災重点農業用ため池を適切に把握し、決壊による災害から生命及び財産を保護するため、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」が令和2年6月19日に公布され、同年10月1日に施行されました。

本法律の施行に伴い、『防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画』を策定し、令和3年度からの10年間で劣化状況評価や防災工事等を集中的かつ計画的に実施していきます。

Q 推進計画の対象となるため池は？

⇒ 防災重点農業用ため池が全て対象です。

Q 防災重点農業用ため池とは？

⇒ 決壊による水害その他の災害によりその周辺の区域に被害を及ぼすおそれがあるものとして政令で定める要件に該当する農業用ため池です。

※ 不明な点は県南農林事務所農村整備部農地計画課(0248-23-1586)又は市町村にお問い合わせください。

【農村整備部】

◆新型コロナウイルス感染症の支援などに係る情報

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農林業者への支援(県農林企画課 HP)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/corona01.html>

○コロナウイルス発症時の対応や農林業者等への国の支援等(農林水産省 HP)

<https://www.maff.go.jp/j/saigai/n-coronavirus/index.html>

○当所の相談窓口(8:30~17:15(土日祝日を除く))

農業・林業の経営相談に応じるとともに、対応可能な支援制度を紹介します。

・農業振興普及部 電話 0248-23-1561

・森林林業部 電話 0247-33-2121



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

お問い合わせ

福島県県南農林事務所 企画部 地域農林企画課

住所 福島県白河市昭和町 269 番地 (白河合同庁舎 4 階)

TEL 0248-23-1576 FAX 0248-23-1590

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36230a/>

